

広歳時記

8 月

陰曆異名・葉月(はづき)
花 曆・ゆり(純情)
誕生石・サードニックス(和合)

怪談 咄

「草木も眠る丑三つ時、雨のそほ降る柳の蔭に足元のおぼろげな人の姿がスーッと現れて…」といった調子の怪談は、夏、特にお盆がシーズン。ぞくぞくとする気分が涼しさを味わおうというわけですが、どうも現代っ子にはピンとこないようです。

怪談は、昔から説話文学などの形で伝えられてきましたが、講談や芝居で怪談が盛んになったのは江戸時代になってから。乾坤坊良斎が自作自演した「四谷怪談」、三遊亭円朝の「牡丹灯笼」などが特に知られています。また、江戸時代には町人たちの間で、夏の夕方、怪談の上手な人が話を聞かせ度胸試しをするなどの楽しみもあったようです。



最近ではクーラーの普及で涼味を怪談に求める必要がなくなったというせいでしょうか。お化けの出る話はあまり聞きません。でも、今様怪談で道路に幽霊が出る話を耳にすることがあります。調べてみると確かにそこが交通事故のあったところだったりします。そして、夜になると道路の照明や周囲の明かりの具合などで奇怪な像(ゴースト)となって見えるということもあるようです。そのためドライバーが錯覚を起こしてハンドル操作を誤り、事故の原因になる—このような道路は、怪談咄と一笑に付きないで、点検した方がよさそうですね。

文化会館利用のマナー

- 大・中ホール内では、飲食、喫煙はできません。
- ストロボ等を使用したカメラ撮影やテープレコーダー録音はできません。
- 満席のときは、入場をお断りします。
- 会館内では職員の指示に従ってください。



▲自由観覧日 6月28、29の両日で1万5千もの市民が入場し、会館のすばらしさに感嘆の声が聞かれました。この日入場した内田八重子さん(幸町)「建物の豪華さに圧倒されました」



▲ライブ ジャズ イン オオダテ、公開録音 —NHKのFM放送「夕べのひととき」の録音日には、市内のジャズ愛好者4グループが出演しました。この日、ゲストとして出演した佐藤春男さん(土目内)「これまで使用していた市民体育館と違って音がよく通る。秋ごろにコンサートを予定しています」



▶郷土芸能と民謡と詩吟の夕べ —市内の獅子踊りや大館ばやし、民謡などが行われました。大文字太鼓で出演した戸枝正樹さん(片山三丁目)「照明や音響効果がすばらしい。これからも芸術祭などにとくに利用したい」

▼絵画展、短歌会 展示ホールでは絵画展や生け花展、染の花とフラワー展、書道展などが、和室では茶会や俳句会、川柳会などが行われ、連日多くの人たちが訪れて、すばらしい作品を鑑賞していました。

▼バレエの夕べ

竹沢寿英さん(三の丸)「文化会館の機能をフル活用することができて、気持ちよくやれました。これからはいろいろな趣向をこらしたバレエを皆さんにお見せします」



8月1日~16日 市民文化会館開館記念行事

ピカソ生誕百年記念銅版画展



市民文化会館の開館記念行事として「ピカソ銅版画展」が開かれます。この版画展は、作品を所有している株式会社ニッショ(社長佐野実氏(誘致企業株日医の親会社))のご好意で行われるものです。展示が予定されているのは、ピカソが四十九歳から五十六歳のときに製作し、画商ピオラールによってまとめられた具象画中心の銅版画約五十点です。

と き・8月1日(日)~16日(月)
午前9時~午後4時30分
と ころ・市民文化会館展示室
入場料・大人二百円、高校生以下
百円、乳幼児 無料

愛は地球を救う24時間テレビ
落語と漫才のつどい

出演・アヤツリ舞踊で有名な雷門助六、雷門五郎、奇術の松旭斎天百合、松旭斎小天華、喜多恵子、兄弟で曲芸師の海老一染之助、弟大郎、声帯模写の堺すずむ

と き・8月22日(日)
昼の部 午後2時
夜の部 午後5時

往復ハガキ記入例

住所	大館市字桜町南 85-1 大館市市民文化会館
(オモテ)	(記入しないこと)
住所	希望時間(昼、夜の部) 氏名
住所	希望時間(昼、夜の部) 氏名、郵便番号 をこ記入ください

と ころ・文化会館大ホール
入場料・無料、観覧希望の方は、往復ハガキで申し込んでください。一枚につき一人分です。
締切・8月15日(必着)
主催・市民文化会館
協賛・ABS秋田放送